

西小は 大きな 家族

Family

～校長のたわいもない独り言～

平成 30 年 12 月 17 日 (月) No.43

発行人

学校へ戻った日のジャンケン全敗。これが正しい姿?の川崎先生(T_T)

◇児童会選挙に思う◇

12日(水)に、児童会選挙の当選証書及び委嘱状、任命書の授与式があった。この時に前に並んだ者たち、その一人残らずなんと威風堂々としていたことか。素晴らしい返事、引き締まった表情、一つ一つのきびきびした動作、その一挙一動から溢れんばかりの意欲が伝わってくる。ホールにいる誰もが、次期本部役員も頼りがいがあると思ったに違いない。

いつの世も選挙とは厳しいものである。当選があれば落選もある。しかし、それがあるとわかっているながら、自らを奮い立たせる勇氣こそが素晴らしい。誰もが出来ることではないし、簡単に決断できることでもない。

もちろん当選すればうれしいし落選すれば悔しい。当選した者は、その喜びを自信にして、みんなからの期待を自分のエネルギーにして、リーダーとして十分に力を発揮してほしい。今回惜しくも落選した者。その経験こそが人間を強くする。苦しみや悲しみを乗り越えた者は、どんな時でも誰にでもやさしくなれる。その一回り大きくなった心を持って西小を支えてほしい。

児童会本部役員・・・人の前に立つという事は、自分の時間が犠牲になるかもしれない、人より多くの作業をするかもしれない、良いことを言われることもあれば逆もあるかもしれない。ともすると面倒くさいことを嫌う現代の風潮があるけれど、あなたたちは人のために努力する心を持っている。それは、巡り巡って必ず自分のためにもなる。もちろん簡単なことばかりではない。意見のぶつかり合いも我慢も妥協もある。でも、それこそが人生の縮図。生きる上での素晴らしい勉強の機会を是非大切にしてほしい。

集団にはリーダーがいればフォロワーがいる。上に立つ者、それを支える者、その両者があってはじめて児童会は成り立つ。だからどちらも必要だし大切なもの。世の中、持ちつ持たれつ。それぞれが自分にできる場で力を発揮すればいいんだよ。

◇2年生どんぐり祭り(12月12日(水))◇

やるなあ～2年生。ホールにはアイディア満載のゲームと景品が並び。その手作り景品の数々。かわいい飾り物だったり遊び道具だったり、そのすてきな発想になんとも感心する。

川崎も巡りましたよ。まずは女の子が作ったくじ引き。箱の中から番号が書いてあるドングリを一つ選ぶと、その番号に応じた景品をくれる。カップに入ったきれいな飾り物をもらいました。次に行ったのは、今度は男の子が作ったくじ引き。これは箱を振って逆さにすると、小さな口からドングリが落ちてくる。そこに書いてある番号の景品をくれると言うもの。ナイス発想。もらったのは・・・とっても大きな手作りけん玉でした。校長室で時々遊んでます(^)v。そして次はラミネートした葉を切ってつくったパズル。クジを引いてパズルを選ぶ。川崎は“1”。うわあ、これむずい。これを10秒で完成させるの?はい、撃沈でした。ひとつもできなかった(T_T)。そして次が大掛かりな仕掛けの玉ころがし。二人一組で同時にドングリを転がし、早く下まで転がった方が勝ち。ほお、面白い。6年生と2回バトる。1勝1分け(分けはとちゅづえ二人のドングリが止まっちゃったから)。楽しいらしく6年生も何度もやってた。最後のひとつは釣りゲーム。これがまた長者の列。並んでたけど、時間内にたどり着きそうもない。しかたなくあきらめた(T_T)。・・・なんとも楽しい時間が流れた・・・・。